

令和2年度用「小学社会3・4下」(第4学年) 年間指導計画作成資料(案)

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- この案では、学習指導要領の定める第4学年の総時数90時間のうち、15時間を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として示しています。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するというものではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画(案)」をご参照ください。

ご確認ください

令和2年度は、小学校で新学習指導要領の全面実施が始まりますが、第4学年の児童については新課程用の教科書は供給されず、令和元年度の第3学年時に供給された3・4下の教科書を使用して学習します。

ただし、「自然災害から人々を守る活動」(新学習指導要領の第4学年「内容(3)」)においては、令和2年の春に配布された補助教材を併用して学習します。この補助教材は、令和元年度に採択決定された発行者のものを使用することになっておりますので、当該単元の学習指導計画については各発行者作成のものを参照してください。

教育出版

平成27年度版『小学社会3・4下』に基づく年間指導計画・評価計画(案)

※「自然災害から人々を守る活動」(この教科書における単元名「自然災害にそなえるまちづくり」)については、令和2年春に配布された教育出版の補助教材に基いて作成しています)

大単元7	わたしたちの県のまちづくり	配当時間 8時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)</small>	教科書 3・4下 P108～119
-------------	----------------------	-----------------------------------------------------------------------	------------------------------------

目 標

- 自分たちの都道府県の地理的概要について、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 自分たちの県の地理的環境の特色について、文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりする力を養う。
- 自分たちの都道府県の地理的概要について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・47 都道府県の名称と位置について、地図帳などで確かめたり、日本の白地図などに書き表したりしている。 ・自分たちの都道府県の地理的環境の概要を理解している。 ・自分たちの県の様子について、地図や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国における自分たちの都道府県の位置、都道府県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、都道府県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元の構成



○の中の数字は、配当時数

大単元名：7 わたしたちの県のまちづくり 【配当 2時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
オリエンテーション P108～109 【配時 2】	地図を使って、自分たちの県の地理的位置や47都道府県の名称と位置を調べ、方位を用いて位置を説明したり、地図上で名称や位置を指摘したりすることができるようにする。	○地図を使って自分たちの県の位置、47都道府県の名称と位置を調べ、都道府県の位置関係を方位で表現したり、他の都道府県について知っていることや地図帳などで調べてわかったことを話し合ったり、発表したりする。 ◆日本は47の都道府県からなること、各都道府県の名称と位置、自分たちの県の地理的位置や、隣接県の名称、自分たちの県との位置関係。	①地図を見て、自分たちの県の位置について話し合う。 ②他の都道府県の知っている場所を発表する。 ③地図帳を使って47都道府県の名称や位置を調べ、調べた都道府県をクイズにして出題し合う。	※各自がP108～109を読んで、都道府県クイズの出題内容を考え、書いて持ち寄ることを説明する。 P108～109を読み、都道府県クイズの出題内容を考えて書く。 【1時間】 ※授業で①②の学習活動のあと、各自が持ち寄ったクイズを出題し合う学習活動を行う。 ※次時(①～②)の学習活動について説明をする。

小単元名：1 県の地図を広げて 【配当 6時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
県の地図を見てみよう P110～111 【配時 2】	地図を使って県内における自分たちの市の位置を表したり、県の地形の様子を読み取ったりして、自分たちの県について調べたいことを明らかにし、学習問題をつくることができるようにする。	○地図を使って、県内における自分たちの市の地理的位置を方位で表したり、県の地形や土地の様子を等高線から読み取ったりして調べ、県について調べる学習問題をつくる。 ◆自分たちの県の地理的位置や地形の様子、主な市町村、山地、河川の名称や位置。	①自分たちの市の位置を地図で調べ、気づいたことを話し合う。 ②土地の高さを等高線で読み取る。 ③県全体の様子を調べるための学習問題をつくる。	教科書や副読本を見ながら、自分たちの市の位置を地図で調べ、土地の高さを等高線で読み取り、ノートに書く。 【1時間】 ※学習問題や学習計画の設定については、対話的な学習を想定しているため、授業で行う。

学習問題 わたしたちの住んでいる県の地形、産業や交通はどのような様子だろう。

県の土地の使われ方 P112～113 【配時 1】	土地利用図と地形図を使って、土地利用と地形の関連を読み取り、自分たちの県の土地利用の様子について捉えることができるようにする。	○土地利用図を活用して、自分たちの県の土地の使われ方を地形と関連づけて読み取り、わかったことをノートにまとめる。 ◆自分たちの県の土地利用は、地形の様子と関わっていること。	①県のどこの土地が、どのようなことに使われているのかを調べる。 ②県の土地の使われ方を、地形と関係づけて考える。 ③県の土地の使われ方について、気づいたことをノートにまとめる。	
---------------------------------	-----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>農業や漁業が さかんな地域 P114～115 【配時 1】</p>	<p>地図や写真，グラフなどを使って，自分たちの県の主な農産物や海産物，それらの分布や主な産地を調べ，自分たち県の農業や漁業の概要について捉えることができるようにする。</p>	<p>○地図や写真，グラフなどを使って，自分たちの県の主な農産物や海産物と，それらの分布や主な産地を調べ，わかったことをノートにまとめる。 ◆自分たちの県の主な農産物や海産物と，県内の農業や漁業が盛んな地域。農産物や海産物は様々あり，場所によってとれる物に違いがあること。</p>	<p>①県のどこで，どのような農産物がつくられているのか調べる。 ②県でつくられている，主な農産物を調べる。 ③県のどこの海で，どのような海産物がとれるか調べる。</p>	
<p>工業がさかん な地域 P116～117 【配時 1】</p>	<p>地図や写真，グラフなどを使って，自県で工業が盛んな地域やつくられている主な工業製品を調べたり，工業が特に盛んな地域の地理的条件を調べたりして，県の工業の概要について捉えることができるようにする。</p>	<p>○地図や写真，グラフなどを使って，自県の主な工業製品と工業が盛んな地域や分布について調べ，わかったことをノートにまとめる。 ◆自分たちの県で工業が盛んな地域と，つくられている主な工業製品。また，県内で特に工業が盛んな地域は，盛んになる地理的条件があったこと。</p>	<p>①県でつくられた工業製品の出荷額を市や町ごとに調べる。 ②県で工業が盛んな市や町では，どのような工業製品がつくられているのかを調べる。 ③北九州市で，特に工業が盛んになった理由を調べる。</p>	
<p>県の交通の様 子 <まとめる> P118～119 【配時 1】</p>	<p>地図や写真などを使って，自分たちの県の主な交通とその広がりの様子を捉えることができるようにする。</p>	<p>○地図や写真を使って，県内の主な交通の様子や空港・港の位置などを調べ，交通の広がりの様子を読み取ったり，広がりをもつ意味について考えたりする。 ◆交通は，県内の主要都市を結びながら，他の都道府県や外国とつながっており，この結びつきが自分たちの県の人や物の行き来を支えていること。</p>	<p>①県の道路や鉄道の広がり，空港や港の位置を地図で調べる。 ②交通は，県内のどこを，どのように結んでいるのかを読み取る。 ③「まとめる」を参考に，県の地勢，産業や交通の概要，特色などを白地図やノートに書く。</p>	

大単元 5	健康なくらしとまちづくり	配当時間 28 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 7 時間)</small>	教科書 3・4 下 P40~75
-------	--------------	---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

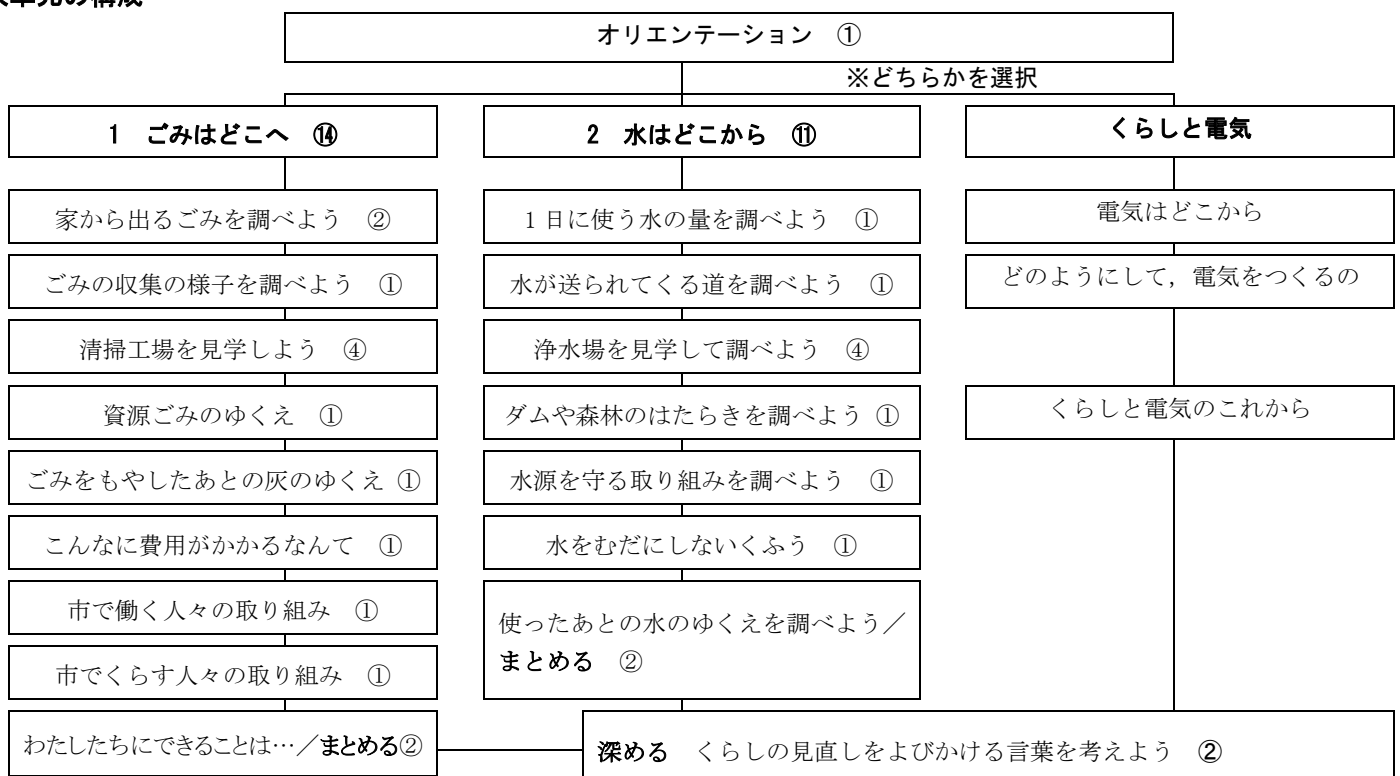
目 標

- 人々の健康と生活環境を支える働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 人々の健康と生活環境を支える働きについて、相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 人々の健康と生活環境を支える働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・人々の健康や生活環境を支える事業について、関連施設や事業所を見学したり、地図や資料などで調べたりして、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。 ・供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の健康や生活環境を支える事業について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。 ・地域の人々の健康と生活環境を支える働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元の構成



○の中の数字は、配当時数。

小単元 1	ごみはどこへ	配当時間 14 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 4 時間)</small>	教科書 3・4 下 P42～59
-------	--------	---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

目 標

- ごみを処理する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - ごみを処理する仕組みや処理に協力する人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて社会への関わり方を
- 選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- ごみの処理について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・ごみを処理する仕組みやその再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを処理するための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、ごみを減らすために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして、自らもごみの適切な処理や再利用に協力しようとしている。 ・ごみの処理について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名：5 健康なくらしとまちづくり 【配当 1時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
オリエンテーション P40～41 【配時 1】	日常生活で出るごみはどのように処理されるのか、また、日常生活で使われる水道水はどのようにして送られているのかについて、調べる意欲がもてるようにする。	○給食の残りや食器洗いの様子の写真などを手がかりに、日常生活でごみを出したり、水道水を使ったりする場面を発表し、ごみのゆくえや水道水の供給について調べる意欲をもつ。 ◆学校生活をはじめ、日常生活の様々な場面でごみが出たり、水が使用されたりしていること。	①給食の残りは、どうなるのかについて話し合う。 ②使った食器は、どうなるのかについて話し合う。 ③話し合ったことをもとに、ごみの処理や水道水について調べる計画を立てる。	

小単元名：1 ごみはどこへ【配当 14時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
家から出るごみを調べよう P42～43 【配時 2】	家から出るごみの種類や量を調べたり、ごみを収集に出す際にきまりがあるわけについて関心をもったりして、調べたいことを明らかにして、学習問題をつくることができるようにする。	○家から出るごみの種類や量と、ごみを収集するときのきまりを調べ、ごみの処理について調べる学習問題をつくる。 ◆ごみの種類ごとに分別したり、決められた日に出したりするなど、収集に出す際にきまりがあること。	①家から出るごみの種類と量を調べる。 ②ごみの分別の仕方や収集のきまりを調べる。 ③ごみの処理について知りたいことを明らかにし、学習問題をつくる。	※前時に各自が①②の学習活動を行うことや、調べ方について説明する。 家から出るごみの種類と量、ごみの分別の仕方や収集のきまりを調べてノートに書く。 【1時間】 ※各自が書いたノートを持ち寄り、ごみの処理について知りたいことを明らかにし、学習問題をつくる対話的な学習を授業で行う。

学習問題 わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろうか。

ごみの収集の様子を調べよう P44～45 【配時 1】	ごみの出し方や収集の工夫について調べ、大量のごみが種類別に異なる施設に運ばれることに気づき、その理由に関心をもつことができるようにする。	○ごみの出し方、収集の仕方や工夫を調べる。 ◆大量のごみを収集するための工夫があることや、ごみの種類によって処理方法が違うために分別して収集を行っていること。	①ごみの収集の様子を調べる。 ②ごみの収集の仕方や収集の工夫を調べる。 ③ごみを分別して収集している理由を考える。	※各自が教科書 P46～47 や副読本、パンフレット等を読んで清掃工場のはたらきについて調べ、ノートやワークシートに書いてくることを説明する。
清掃工場を見学しよう P46～47 【配時 4】	清掃工場における燃やすごみの処理の仕方や、処理の工夫について調べることができるようにする。	○清掃工場における燃やすごみの処理の仕方と、その工夫について調べる。 ◆清掃工場では、燃やすごみを工夫して処理していること。	①清掃工場について調べる計画を立てる。 ②燃やすごみを処理する様子を調べる。 ③清掃工場で行われている工夫を調べる。	教科書 P46～47 や副読本、パンフレット等を読んで清掃工場のはたらきについて調べ、ノートやワークシートに書く。 【2時間】 ※各自が書いたノートやワークシートを持ち寄り、清掃工場のはたらきについてわかったことを発表し合う対話的な学習を授業で行う。

<p>資源ごみのゆくえ P48~49 【配時 1】</p>	<p>資源ごみの処理の仕方と、そのゆくえを調べ、リサイクルを進めるうえで大切なことについて考えることができるようにする。</p>	<p>○資源ごみの処理の仕方と、そのゆくえについて調べる。 ◆資源ごみをリサイクルしやすくするために、自分たちも分別に取り組みなどの協力が必要であること。</p>	<p>①資源ごみの処理の仕方を調べる。 ②仕分けられた資源ごみのゆくえを調べる。 ③資源ごみをリサイクルしやすくするために、大切なことは何かを考える。</p>	
<p>ごみをもやしたあとの灰のゆくえ P50~51 【配時 1】</p>	<p>最終処分場での処理の仕方や、処理の工夫について調べるとともに、学習を振り返ってごみのゆくえについてまとめることができるようにする。</p>	<p>○最終処分場での処理の仕方や処理の工夫について調べ、ごみのゆくえについてまとめる。 ◆最終処分場の使用を持続できるように、処理の仕方や周囲の環境に配慮するといった取り組みをしていること。</p>	<p>①ごみを燃やした後の灰のゆくえを調べる。 ②最終処分場の取り組みや工夫を調べる。 ③ごみのゆくえについて、わかったことをまとめる。</p>	
<p>こんなに費用がかかるなんて P52~53 【配時 1】</p>	<p>市のごみの量の変化と処理にかかる費用の変化について調べ、変化の理由を捉えることができるようにする。</p>	<p>○市のごみの量や、ごみの処理にかかる費用について、変化とその理由を調べる。 ◆市のごみの量や処理にかかる費用は、人々の暮らしの在り方や、市の取り組みによって変化が生じていること。</p>	<p>①市のごみの量やごみの処理にかかる費用の変化について調べる。 ②ごみの量やごみの処理にかかる費用が大きく増えたわけを考える。 ③ごみを減らすために市が取り組んでいることを調べる。</p>	
<p>市で働く人々の取り組み P54~55 【配時 1】</p>	<p>市で働く人々が、ごみの量を減らすために取り組んでいることや、そこでの工夫や努力について調べることができるようにする。</p>	<p>○給食室やスーパーマーケットで働く人々の、ごみを減量するための取り組みと、その工夫について調べる。 ◆市で働く人々は、給食をつくったりスーパーマーケットで働いたりする中で、ごみの減量や再生利用の取り組みを進めていること。</p>	<p>①給食室から出たごみのゆくえを調べる。 ②スーパーマーケットから出たごみのゆくえを調べる。 ③市で働く人々の取り組みが、なぜ、ごみを減らすことにつながっているのかを考える。</p>	
<p>市で暮らす人々の取り組み P56~57 【配時 1】</p>	<p>市で暮らす人々がごみの量を減らすために行っている活動を調べるとともに、人々はどのようなことを大切にして活動しているのかについて考えることができるようにする。</p>	<p>○ごみを減量するために、市で暮らす人々が取り組んでいる活動を調べ、人々が活動において大切にしていることについて考える。 ◆市で暮らす人々は、ごみの量を減らすために自分たちにできることを進んで行っていること。</p>	<p>①市で暮らす人々の、ごみを減らすための活動を調べる。 ②市で暮らす人々は、どのようなことを大切にして活動しているか、考える。 ③市で暮らす人々の活動と私たちの暮らしとの関わりを考える。</p>	
<p>わたしたちができることは… <まとめる> P58~59 【配時 2】</p>	<p>学習したことをもとに、ごみの量を減らすために自分たちにできることを考え、考えた根拠を明らかにして文章で表現することができるようにする。</p>	<p>○学習したことをもとに、ごみの量を減らすために自分たちにできることを考え、文章で表現する。 ◆ごみを減量していくために、「3R」という考え方があり、生活の様々な場面で実践されていること。</p>	<p>①ごみの処理やごみの量を減らすための取り組みなど、調べたことを振り返る。 ②ごみの量を減らすために、大切なことはなにか、話し合う。 ③「まとめる」を参考に、ごみの処理について調べたことをまとめ、ごみの量を減らすために自分ができることを考えてノートに書く。</p>	<p>※授業で①②の学習活動を行い、各自が教科書や副読本、ノート等を見ながら③の学習活動を行うことを説明する。 各自が教科書や副読本、ノート等を見ながらごみの処理について調べたことをまとめ、ごみの量を減らすために自分ができることを考えてノートに書く。 【1時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

小単元 2	水はどこから	配当時間 11 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2 時間)</small>	教科書 3・4 下 P60～73
-------	--------	---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

目 標

- 水を供給する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえ、理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 水を安定的に供給するための仕組みや人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、水をどのように使っていけばよいかについて選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 水の供給や使い方について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・水道を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 ・水道を供給する事業について、関連施設や事業所を見学したり、地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして、県の白地図や図表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、水を大切な資源として捉え、節水などに向けて、自分たちが協力できることなどを考えたり選択・判断したりするなど、資源の有効利用に関心を高めようとしている。 ・水道を供給する仕組みについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 水はどこから 【配当 11 時間】

※「水はどこから」か、P76～81 のどちらかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1 日に使う水の量を調べよう P60～61 【配時 1】	自分の家や市の水の使用量などを調べ、気づいたことや疑問に思ったことをもとに水道の仕組みに関心をもち、調べたいことを明らかにして、学習問題をつくることができるようにする。	○自分の家の水の用途や使用量、市全体の水の使用量やその変化などを調べ、疑問に感じたことをもとに学習問題をつくる。 ◆水は日常生活の様々な場面で大量に使われていること。また、近年は市の人口増加に比べて、市の水の使用量は増えていないこと。	①自分たちが1日に使っている水の量を調べる。 ②市の水の使用量と、市の人口の移り変わりを調べる。 ③調べて気づいたことをもとに、学習問題をつくる。	
学習問題 水道の水は、どこから、どうやって送られてくるのだろう。また、人々は、水道の水をどのように使っているのだろう。				
水が送られてくる道を調べよう P62～63 【配時 1】	自分たちの使う水は、水源からダムや浄水場などの施設を経由して送られてきていることを絵地図や写真から読み取ることができるようにする。	○絵地図や写真などを用いて、自分たちの使う水が送られてくる経路について調べる。 ◆自分たちの使う水は、水源から河川、ダムや浄水場などの各施設を経て送られてきていること。	①自分たちの使う水はどこから送られてくるのか、予想する。 ②資料を使って、水が学校や家まで送られてくる道を調べる。 ③水が送られてくる道を調べて、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。	※各自が教科書 P64～65 や副読本、パンフレット等を読んで浄水場のはたらきについて調べ、ノートやワークシートに書いてくることを説明する。
浄水場を見学して調べよう P64～65 【配時 4】	浄水場の仕組みやそこで働く人の仕事を調べ、浄水場の役割を理解することができるようにする。	○浄水場の様子や仕組みについて資料などから調べる。 ◆浄水場のはたらきによって、安心して飲める水道水が安定的に供給されていること。	①浄水場の様子や仕組みを調べる。 ②浄水場で働く人の仕事を調べる。 ③浄水場の役割をまとめる。	教科書 P46～47 や副読本、パンフレット等を読んで浄水場のはたらきについて調べ、ノートやワークシートに書く。 【2 時間】 ※各自が書いたノートやワークシートを持ち寄り、浄水場のはたらきについてわかったことを発表し合う対話的な学習を授業で行う。
ダムや森林のはたらきを調べよう P66～67 【配時 1】	ダムと森林のはたらきについて調べ、そこに共通するはたらきについて理解することができるようにする。	○ダムや森林のはたらきについて、ダムを見学して働く人から話を聞いたり、図解を見たりして調べる。 ◆ダムは川に流す水量を調節し、水道水を安定的に供給するはたらきがあること。また、ダムと森林には保水作用という共通のはたらきがあること。	①ダムのはたらきを調べる。 ②森林のはたらきを調べる。 ③ダムと森林に共通するはたらきについて考える。	

<p>水源を守る取り組みを調べよう P68～69 【配時 1】</p>	<p>水源の森林の保護に努めるボランティアや県の活動、河川の美化に努める流域住民の取り組みなどを調べ、水源を守るための人々の努力に気づくことができるようにする。</p>	<p>○水源や水源の森林を守る活動に携わる人や、活動に協力する県の担当者から話を聞いたり、活動している場所を地図で確認したりする。 ◆ボランティアなどの人々と県が協力して水源を守る取り組みを進めていること。その取り組みは県や地域を越えて行われていること。</p>	<p>①水源の森林を守るための活動について調べる。 ②水源と森林は、どのようにかかわりあっているのかを考える。 ③水源を守るための、県や地域を越えた取り組みについて調べる。</p>	
<p>水をむだにしないくふう P70～71 【配時 2】</p>	<p>市の水の使用量が増えていないわけを調べ、これまでの学習をもとに節水が必要な理由を考え、身近な節水の工夫を調べ、自分にできることを考えることができるようにする。</p>	<p>○水を大切に使うことが大事なわけを考え、水をむだにしないための工夫を調べる。 ◆市内の工場では以前に比べ水の使用量が減ってきていること。また、市民の水を大切に使う意識も高まってきていること。</p>	<p>①市で使われる水の量が、あまり増えていないわけを調べる。 ②水を大切に使うわけを、これまでの学習をもとに考える。 ③水をむだにしないためのくふうを調べ、自分にできることを考える。</p>	
<p>使ったあとの水のゆくえを調べよう <まとめる> P72～73 【配時 1】</p>	<p>使った後の水のゆくえを調べ、再利用されたり、施設で処理されたりしていることを捉えるとともに、水は循環しているということに気づくことができるようにする。</p>	<p>○使った後の水のゆくえと、下水処理のはたらきを調べる。 ◆使った後の水は、下水処理施設を経て海に流され、蒸発して再び雨になり、自分たちの使う水となるといったように循環していること。</p>	<p>①使ったあとの水のゆくえを、資料から調べる。 ②下水処理施設のはたらきを調べる。 ③「まとめる」を参考に、学習を振り返り、水道の水を必要とときに、いつでも使えるようにしておくために大切なことは何かを考えてノートに書く。</p>	
<p><深める> くらしの見直しをよびかける言葉を考えよう P74～75 【配時 2】</p>	<p>学習を振り返って、ごみの減量や、節水呼びかける言葉を考え、表現することができるようにする。</p>	<p>○ごみの減量や、節水を呼びかける言葉を考えて表現し、他の児童と批評し合う。 ◆ごみの減量や、節水を呼びかけるために、わかりやすい言葉で表現すること。</p>	<p>①学習を振り返って、ごみの減量や節水について、呼びかけた言葉を考えて表現する。 ②グループになって、考えた言葉と考えたわけをそれぞれ発表し、感想を出し合う。 ③友だちの感想をもとに最初につくった呼びかけの言葉を加筆・修正し、表現する。</p>	<p>※授業で①②の学習活動を行い、各自が教科書や副読本、ノート等を見ながら③の学習活動を行うことを説明する。 各自が教科書や副読本、ノート等を見ながら節水を呼びかける言葉を考えてノートに書く。 【1時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

せんとく くらしと電気

※「水はどこから」か、P76～81のどちらかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
電気はどこから P76～77	電気と自分たちの暮らしとの結びつきに着目し、電気の供給について調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	○停電が起きた場合の暮らしへの影響について話し合ったり、送電の経路を資料で調べたりして、暮らしと電気との関わりについて調べる学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆電気にはいくつかの発電方法があり、自分たちが使う電気は送電線により自地域以外からも送られていること。	①停電が起きたら、暮らしはどうなるかを話し合う。 ②電気がどこから送られてくるのかを調べる。 ③暮らしと電気とのかかわりを考え、学習問題をつくる。	
学習問題 くらしをささえる電気は、どこで、どのようにしてつくられ、送られてくるのだろう。				
どのようにして、電気をつくるの P78～79	電気を安定供給する仕組みに着目し、暮らしに必要な電気が不足しないための計画的な取り組みと、3種類の発電の仕組みや特徴を理解する。	○どうすれば停電が起きないかを話し合い、電気の需給量と各種の発電方法について資料で調べる。 ◆電気は不足しないよう計画的に供給されており、主要な発電方法である火力・原子力・水力はそれぞれ仕組みが異なり、特徴があること。	①停電を起こさないために、どのようなことが必要かを、話し合う。 ②電気が不足なくつくられているかどうか、グラフから確かめる。 ③発電の仕組みごとに、電気のつくり方や特徴を調べる。	
くらしと電気のこれから P80～81	学習問題についてわかったことをまとめ、必要な電気が不足しないようにするために、どのようなことが大切かを考える。	○自然の力を利用する発電を進めようとしている理由と、電気をむだなく使う節電の方法について調べ、話し合う。 ◆電力供給のあり方として、安定的であるとともに、安全性かつ環境負荷低減への留意が必要であること。電力使用量を減らす節電への取り組みが重要であること。	①自然の力を利用した発電の仕組みについて調べる。 ②自然の力を利用してつくった電気を、暮らしに使っていかうとしているわけを考える。 ③暮らしに必要な電気をこれからどのようにつくり、使っていけばよいのかを考え、まとめる。	

大単元	自然災害にそなえるまちづくり	配当時間 10 時間 (学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	※補助教材 P2～19
------------	-----------------------	----------------------------------------------------------	------------------------------

※本単元は、令和2(2020)年の春に配布された補助教材を併用して学習します。この補助教材は、令和元年度に採択決定された発行者のものを使用することになっておりますので、当該単元の学習指導計画については各発行者作成のものを参照してください。

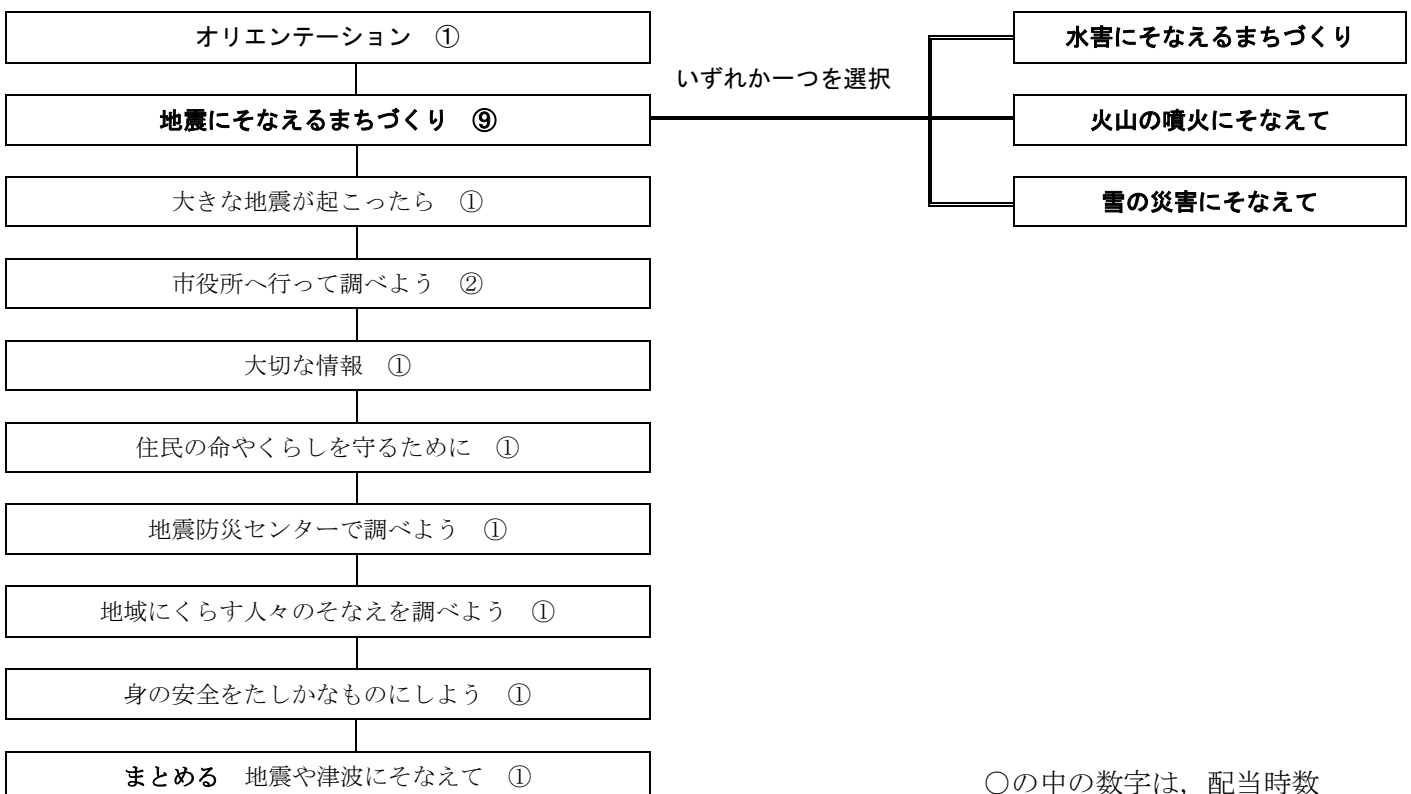
目 標

- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動の特色や関連機関や人々の協力を捉えて、そうした取り組みの意味を考え、地域に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを理解している。 ・地域の関係機関や人々は、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現する。 ・地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。

大単元の構成



○の中の数字は、配当時数

大単元名：自然災害にそなえるまちづくり 【配当 1 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
オリエンテーション P2～3 【配時 1】	各地で起こる様々な自然災害に目を向け、その中から自分たちの地域で特に起こりやすい自然災害を調べる対象として選ぶ。	○自然災害の写真を見て感じたことや、自然災害について知っていることなどを発表し、自分たちの地域ではどのような自然災害が起こるのかについて話し合う。 ◆自然災害には様々な種類があり、自分たちの地域でも起こりやすい自然災害や発生が予想される自然災害があること。	①自然災害が起こっているときの写真を読み取る。 ②自然災害について、知っていることや見聞きしたことを発表する。 ③発表をもとに、自分たちの地域では、どのような自然災害が起こるのかを話し合い、災害への備えに関心をもつ。	

単元名：地震にそなえるまちづくり 【配当 9 時間】

※「地震にそなえるまちづくり」が、P20～31、32～33、34～35 のいずれかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
大きな地震が起こったら P4～5 【配時 1】	自分たちの地域の地震や津波対策の施設や設備に着目し、地震や津波に備える地域の取り組みについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	○地震災害や津波災害と、それらへの備えについて知りたいことを話し合い、調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆自分たちの身の回りには地震や津波に備える取り組みがあること。自分たちの地域の地震や津波災害に対する備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てること。	①地震が起こった場合に、気がかりになることを話し合う。 ②地震への備えについて知りたいことを整理して、学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、学習計画を立てる。	
学習問題 わたしたちの地域では、地震や津波にそなえてどのような取り組みをしているのだろうか。				
市役所へ行って調べよう P6～7 【配時 2】	地震に備える市の取り組みに着目し、市や県などの関係機関の協力の仕組みについて理解する。	○市役所へ行き、係の人から地震災害に備える市や県、その他の関係機関の働きについて話を聞く。そして、調べたことを、ノートや図にまとめる。 ◆市や県は消防や警察などの関係機関と協力して地震災害に備えていること。	①市役所へ行って地震や津波に備える取り組みを調べる。 ②地震や津波が起こったときの関係機関の役割について調べる。 ③地震や津波に備える市の取り組みについてわかったことをノートに書く。	※授業で①～②の学習活動を行い、わかったことを各自がノートにまとめることを説明する。 地震や津波に備える市の取り組みについてわかったことをノートに書く。 【1 時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。

<p>大切な情報 P8～9 【配時 1】</p>	<p>地震や津波に備える市の取り組みに着目し、住民の安全を守るためには、地震や津波に関する情報の収集や提供が大切であることを理解する。</p>	<p>○地震災害時に市は住民に向けてどのように情報を収集し、どうやって発信しているか、また、災害への備えとしてどのような情報をどうやって提供しているかについて、市役所の係の人に話を聞き、調べる。 ◆災害発生時に市は県や国、関係機関と協力して正確な情報を迅速に収集すること。また、災害に備えるために普段から様々な情報を住民に提供していること。</p>	<p>①市は、地震や津波の情報をどのようにして集めているのかを調べる。 ②市は、地震や津波の情報をどのようにして住民に伝えているのかを調べる。 ③市が、広報パンフレットや、ハザードマップで伝えている情報を調べる。</p>	
<p>住民の命やくらしを守るために P10～11 【配時 1】</p>	<p>地震や津波に備える市の取り組みに着目し、住民の安全を守るために必要な施設や設備と、それらの役割について理解する。</p>	<p>○地域にある避難地や避難施設、防災設備と、それらの設置されている場所について市役所の係の人に話を聞き、調べる。 ◆避難地に指定されている公園などには、避難者の生活を支えるための設備が市によって置かれていること。また、避難施設は予想される災害の大きさに備えて、市が計画的に配置していること。</p>	<p>①大きな地震が起こったときに、避難する場所はどこか話し合う。 ②地震や津波から住民の命やくらしを守る施設や設備を調べる。 ③避難施設の位置を地図で調べる。</p>	
<p>地震防災センターで調べよう P12～13 【配時 1】</p>	<p>自分たちの地域で過去に起きた大地震に着目し、地震がくり返し起こってきたことを理解する。</p>	<p>○地震防災センターの中を見学しながら、県内で過去に起こった地震災害について、係の人から話を聞いたり、年表や展示資料などを見たりして調べる。 ◆県内ではこれまでも大きな地震がくり返し起こってきたこと。</p>	<p>①地震防災センターで調べる計画を立てる。 ②過去に地域で起こった地震や津波について調べる。 ③年表を見て、地域で起こる災害の特徴について考える。</p>	
<p>地域にくらす人々のそなえを調べよう P14～15 【配時 1】</p>	<p>地域の人々による地震災害への備えに着目し、自分たちができることに日頃から取り組むことの大切さを理解する。</p>	<p>○地域の自治会の人や住民の自主防災の取り組みについて話を聞いたり、自主防災倉庫の中を見せてもらったりして調べる。 ◆地域の人々は、日頃から地震災害に備えるために、自分たちにできる取り組みをしていること。</p>	<p>①地域の自治会が取り組む地震への備えを調べる。 ②自治会の人々の、地震に備えるためのくふうを調べる。 ③地域の住民の、地震に備える取り組みを調べる。</p>	
<p>身の安全をたしかなものにしよう P16～17 【配時 1】</p>	<p>地震に備える人々の様々な取り組みに着目し、より確実に身を守るために大切なことを捉える。</p>	<p>○様々な状況下での災害発生を想定した避難訓練や、災害時に主体的に判断して身を守ったという事例などを調べ、災害時に確実に身を守るために大切なことについて考える。 ◆様々な状況下での避難訓練が行われていること。実際の災害下でも、身を守るためには、主体的に判断し避難することが大切だということ。</p>	<p>①実際に大きな地震が起こったとき、自分の身を守るにはどうしたらいいかを話し合う。 ②災害時に、身の安全をたしかなものにするための取り組みを調べる。 ③身の安全をより確かなものにするために、大切なことは何かを考える。</p>	
<p><まとめる> 地震や津波にそなえて P18～19 【配時 1】</p>	<p>自分たちの地域の地震災害に備えるための取り組みを振り返り、学習問題について自分の考えをまとめる。</p>	<p>○大きな地震の発生に備えて誰がどのような取り組みをしているか、また、実際に地震や津波が発生すると、誰がどのようにして人々の命を守るのかについて、調べてきたことをまとめる。 ◆自分たちの地域では、様々な関係機関や地域の人々が協力して地震や津波災害に備えていること。地域の一員として、地震や津波災害に備えて自分にできる取り組みがあること。</p>	<p>①学習問題を確かめ、調べてきたことを振り返る。 ②誰がどのような取り組みをしたか、調べたことを表に整理する。 ③調べてきた取り組みの中から、自分が特に大切だと思うものを選び、理由とともに発表する。</p>	

せんたく 単元名：水害にそなえるまちづくり 【配当 9 時間】

※「地震にそなえるまちづくり」か、P20～31、32～33、34～35 のいずれかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
水につかっ たまち P20～21 【配時 1】	過去に地域で起こった水害に着目し、地域では水害にどのように備えているかについて調べたいことを明らかにして、学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	○過去に地域で起こった水害の写真を見て、水害から人々を守る仕組みについて調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆地域では過去に水害が発生したこと。自分たちの地域の水害に対する備えについて調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てること。	①過去に起こった水害の写真を見て、感じたことを話し合う。 ②疑問に思ったことや、知りたくなったことを話し合う。 ③話し合ったことをもとに学習問題をつくり、学習計画を立てる。	※各自が補助教材や副読本等を読んで次時(①)の学習活動を行うことを説明する。
学習問題 わたしたちの地域では、水害にそなえてどのような取り組みをしているのだろう。				
水防学習館 で調べよう P22～23 【配時 2】	過去に地域で起こった水害に関する地図や年表に着目し、自分たちの地域では水害がくり返し起こってきたことを理解する。	○写真や年表を使って、地域で起こった過去の水害やその発生原因について調べる。 ◆地域では、これまでに何度も水害が起こっており、水害が起りやすい地理的条件があること。	①過去に地域で起こった水害について調べる。 ②年表や地図を見て、地域で起こる災害の特徴を考える。 ③私たちの地域で、水害が起りやすいわけを調べる。	補助教材や副読本等を読み、過去に地域で起こった水害について調べ、ノートに書く。 【1時間】 ※※各自が書いたノートを持ち寄り、②～③の対話的な学習を授業で行う。
市役所へ行 って調べよう P24～25 【配時 2】	水害に備える市の取り組みに着目し、市や県などの関係機関の協力の仕組みについて理解する。	○市役所へ行き、係の人から水害に備える市や県、その他の関係機関のはたらきについて話を聞き、調べたことをノートや図にまとめる。 ◆市や県は消防や警察などの関係機関と協力して水害に備えていること。	①市役所へ行って、水害に備える市の取り組みを調べる。 ②水害が起こったときの関係機関の役割について調べる。 ③水害に備える市の取り組みについて、わかったことをノートに書く。	
ひがいがくり 返されない ために P26～27 【配時 2】	水害に備える市や県、国の取り組みに着目し、住民の安全を守るための施設や設備と、それらの役割について理解する。	○市役所の係の人から、市や県、国が水害対策のために設置した施設や設備について話を聞いたり、資料で調べたりする。 ◆市、県、国は、水害に備える施設や設備を設置してきたこと。日頃から住民に向けた水害に備えるための意識啓発を行っていること。	①市や県、国は、水害に備えて、どのような取り組みをしているのか、考える。 ②市や県、国の水害に備える取り組みを調べる。 ③過去の水害が、今の備えにどのように活かされているかを考える。	
地域の住民 の取り組み P28～29 【配時 1】	地域の人々による水害への備えに着目し、自分たちにできることに日頃から取り組むことの大切さを理解する。	○地域の消防団の人や住民から、水害に備える活動について話を聞く。 ◆地域では水防団活動や避難訓練が行われ、避難時に住民同士が助け合うための取り組みがあること。	①地域で水防活動をしている人から話を聞く。 ②地域で行われる避難訓練について調べる。 ③地域の住民の水害に対する様々な備えを調べる。	

<p><まとめ> 水害にそなえて P30~31 【配時1】</p>	<p>自分たちの地域の 水害に備えるため の取り組みをふり 返り、学習問題につ いて自分の考えを まとめる。</p>	<p>○水害の発生に備えて誰がどのような 取り組みをしているか、また、実際に地 震が発生すると、誰がどのようにして 人々の命を守るのかについて、調べて きたことをまとめる。 ◆自分たちの地域では、様々な関係 機関や地域の人々が協力して水害に 備えていること。地域の一員として、 水害に備えて自分たちにできる取り 組みがあること。</p>	<p>①学習問題を確かめ、調べてきた ことをふり返る。 ②誰がどのような取り組みをし たか、調べたことを表に整理す る。 ③調べてきた取り組みの中から、 自分が大切だと思うものを選び、 理由とともに発表する。</p>	
<p><せんたく> 火山の噴火 にそなえて P32~33</p>	<p>過去に地域で起こ った火山災害に着 目し、地域では火山 災害にどのように 備えているかにつ いて学習問題をつ くり、学習の見通し をもつ。そして、自 分たちの地域の火 山災害に備えるた めの取り組みを調 べ、自分の考えをま とめる。</p>	<p>○火山災害に備えて誰がどのよ うな取り組みをしているか、誰が どのようにして災害から人々の 命を守るのかについて調べる学 習問題をつくり、学習計画を立て て追究し、調べてきたことにつ いて、自分の考えをまとめる。 ◆自分たちの地域では、様々な関 係機関や地域の人々が協力して 火山災害に備えていること。地域 の一員として、火山災害に備えて 自分にできる取り組みがあるこ と。</p>	<p>①過去に地域で起こった火山 の噴火と、その被害について調 べ、災害の特徴を年表から読み 取る。 ②地域では、噴火に備えて、ど のような取り組みをしている かを調べる。 ③有珠山のまわりの市や町が、 噴火に備えて、さまざまな協力 をしている理由を考える。</p>	
<p><せんたく> 雪の災害に そなえて P34~35</p>	<p>過去に地域で起こ った雪の災害に着 目し、地域では雪の 災害にどのように 備えているかにつ いて学習問題をつ くり、学習の見通し をもつ。そして、自 分たちの地域の雪 の災害に備えるた めの取り組みを調 べ、自分の考えをま とめる。</p>	<p>○雪の災害に備えて誰がどのよ うな取り組みをしているか、誰が どのようにして災害から人々の 命を守るのかについて調べる学 習問題をつくり、学習計画を立て て追究し、調べてきたことにつ いて、自分の考えをまとめる。 ◆自分たちの地域では、様々な関 係機関や地域の人々が協力して 雪の災害に備えていること。地域 の一員として、雪の災害に備えて 自分にできる取り組みがあるこ と。</p>	<p>①過去に地域で起こった雪の 災害について調べ、災害の特徴 を年表から読み取る。 ②地域では、雪の災害に備え て、どのような取り組みをして いるかを調べる。 ③雪の災害に備える市や住民 の工夫について調べる。</p>	

大単元	地域で受けつがれてきたもの	配当時間 10 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間)</small>	※地域副読本等をご活用ください。
-----	---------------	---------------------------------------------------------------------------	-------------------------

※本単元は、地域副読本等をご活用いただき、「県内を代表するような歴史を伝える建造物や遺跡、民俗芸能などの文化財、地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事など」を取り上げてご指導ください。

目 標

- 地域の伝統と文化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地域の伝統と文化の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 地域の伝統と文化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。 ・県内の伝統や文化について、博物館などを見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や年中行事の歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。 ・地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりしたことを表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりしようとしている。

大単元の構成

地域で受けつがれてきたもの ⑩
オリエンテーション ①
県内の年中行事について資料館で調べよう ②
年中行事に参加する人に話をきこう ①
わたしたちの県の年中行事の発展 ①
さがそう、昔から受けつがれてきたもの ①
県内の文化財について調べよう ②
わたしたちの県の文化財を守るために ①
まとめる 未来へ、受けつがれていくために ①

○の中の数字は、配当時数

単元名：地域で受けつがれてきたもの 【配当 10 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
オリエンテーション 【配時 1】	自分たちの県には、大勢の人が参加したり、見物したりしている年中行事があることを捉える。	○地域の年中行事の写真などを見て、知っていることや感じたことを話し合う。 ◆自分たちの県には、他地域からは多くの見物客が来る祭りがあること。	①自分たちの県内で行われる年中行事を発表する。 ②その年中行事について、知っていることを発表する。 ③その年中行事の写真を見て、気になったことや知りたくなったことを話し合う。	
県内の年中行事について資料館で調べよう 【配時 2】	年中行事の由来や歴史に着目して、その年中行事が長い間、人々に受け継がれてきたことについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	○資料館の展示物や資料、年表を見て、県内の年中行事について気になったことや疑問に思ったことをもとに、学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆県内の年中行事は、長い間私たちの地域で受け継がれてきたこと。	①資料館へ行って、県内の年中行事のことを調べる。 ②調べたことをもとに、気になったことや疑問に思ったことを話し合う。 ③話し合ったことをもとに学習問題をつくり、予想を分類・整理し、学習計画を立てる。	
学習問題 わたしたちの県の年中行事は、どのようにして長く続いてきたのだろう。				
年中行事に参加する人に話をきこう 【配時 1】	年中行事のよさに着目して、行事に参加する人から話を聞いたり、実際に自分も行事の一部を体験したりする。	○年中行事の参加者から行事のよさを聞いたり、実際に自分も行事の一部を体験したりして、行事にはどのようなよさがあるのかを話し合う。 ◆年中行事に参加する人は、特別な思いをもって行事へ参加していること。	①自分たちの県内の年中行事へ参加する人に、行事のよさを聞く。 ②自分も年中行事の一部を体験してみる。 ③年中行事のよさについて、分かったことをノートに書く。	
<まとめる> わたしたちの県の年中行事の発展 【配時 1】	年中行事が発展してきた背景に着目し、その発展には、行事に参加する人の努力以外にも見物客や運営に携わる人々の支えがあることを理解する。	○年中行事が発展した経緯や、行事を支えるために努力してきたことについて、行事の主催者などから話を聞くなどして調べる。 ◆県内の年中行事は見物客が増えたり、広く知られるようになったりしたこと。その発展には、行事の参加者、見物客、会場の設営者などの協力があつたこと。	①自分たちの県内の年中行事を見に来る人が増えたわけを調べる。 ②県内の年中行事は、人々のどのような取り組みによって発展してきたかを考える。 ③学習をふり返り、学習問題について考えたことをノートに書く。	
さがそう、昔から受けつがれてきたもの 【配時 1】	年中行事以外に、県内にある文化財に着目し、それを調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	○県内の知っている文化財や年中行事を発表したりパンフレットなどで調べたりして、それらの場所を地図で確かめる。そして、県の文化財や年中行事についてさらに調べるための学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ◆県内各地には様々な文化財や年中行事があること。	①県内で昔から受け継がれてきたものを観光パンフレットなどで調べ、発表する。 ②発表したものが、県内のどこにあるのか、地図で確かめる。 ③県内の文化財について調べる学習問題をつくり、学習計画を立てる。	※各自が副読本やパンフレット等を読み、県内にある文化財やその地理的分布について調べ、白地図にまとめることを説明する。
学習問題 県内にある文化財は、どのようにして、受けつがれてきたのだろう。				

<p>県内の文化財について調べよう 【配時 2】</p>	<p>県内にある文化財の歴史に着目し、長い間、県の伝統芸能として、人々に継承されてきたことを理解する。</p>	<p>○調べる文化財がどのようなものかについて、資料館の人や人形つかいの人から話を聞いたり、年表や資料を使って調べたりする。 ◆その文化財を守り伝えたいと願う人々によって、現在も継承への努力が続けられていること。</p>	<p>①資料館へ行き、文化財について調べる。 ②その文化財が、どのようなものであるかについて調べる。 ③その文化財を守り伝える人の思いや願いを調べる。</p>	<p>副読本やパンフレット等を読み、県内にある文化財やその地理的分布について調べ、ノートや白地図にまとめる。 【1時間】 ※白地図を持ち寄り、わかったことを発表し合い、その文化財を守り伝える人の思いや願いを調べる学習活動を授業で行う。</p>
<p>わたしたちの県の文化財を守るために 【配時 1】</p>	<p>文化財の保存と継承に着目し、保存と継承に関わる課題や守り伝えるための工夫を捉える。</p>	<p>○文化財の保存や継承に携わる人から話を聞いたり、保存・継承していくための工夫や努力について調べたりする。 ◆その文化財を守っていくため、人々に広め伝える取り組みや工夫が進めていること。</p>	<p>①文化財が保存されるようになるまでにどのようなできごとがあったかを調べる。 ②文化財の保存と継承に関わる苦労や課題について、保存に携わる人から話を聞く。 ③文化財を守り伝えるための工夫を調べる。</p>	
<p><まとめる> 未来へ、受けつがれていくために 【配時 1】</p>	<p>調べてきたことをふり返って学習問題について自分の考えをまとめ、県内の文化財や年中行事を保存・継承していくために自分にできることを考え、表現する。</p>	<p>○調べてきた文化財や年中行事についてふり返り、それぞれの歴史や保存・継承のための取り組みといった項目に分けて表に整理する。整理した表を見て、調べた文化財や年中行事に関する共通点、相違点を見出す。 ◆文化財や年中行事を保存・継承していくために自分たちができる取り組みがあること。</p>	<p>①県内の文化財を保存・継承していくための取り組みについてふり返る。 ②調べてきた年中行事と文化財を表に整理して、共通点・ちがう点について話し合う。 ③学習したことをふり返り、文化財や年中行事を保存・継承していくために大切だと思うことを考え、ノートに書く。</p>	

大単元 6	昔から今へと続くまちづくり	配当時間 16 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間)</small>	教科書 3・4 下 P84～101
-------	---------------	---------------------------------------------------------------------------	------------------------------------

目 標

- 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地域の発展に尽くした先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現する力を養う。
- 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ・先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元の構成

オリエンテーション ①
1 吉田新田はどこにあった ⑤
地図を使って調べよう ①
吉田新田を歩いてみよう ④
2 吉田新田はどうやってできた ⑧
歴史博物館をたずねて ④
うめ立てる前の人々の暮らし ①
どのようにしてうめ立てたの？ ①
二度のていぼうづくり ①
新田ができた！／まとめる ①
深める 地域のこれからの考えよう ②

小単元 1	吉田新田はどこにあった	配当時間 5 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)</small>	教科書 3・4 下 P86～89
-------	-------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

目 標

- 地域の発展に尽くした先人の働きについて、その成果物である土地を実際に踏査する調査活動を通して、必要な情報を収集する技能を身に付けるようにする。
- 地域の発展に尽くした先人の働きについて、その目的や意味を追究するための問いをもち、それを表現する力を養う。
- 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・先人の働きによって現出した土地を実際に調査したり、昔と現在の地図や写真などの資料で調べたりして、先人の働きに関する情報を収集している。	・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、地域の発展に尽くした先人の働きについて調べるための問いをもち、表現している。	・先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名：6 昔から今へと続くまちづくり 【配当 1時間】

※「昔から今へと続くまちづくり」と P102～103, P104～105 のいずれかの内容を選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
オリエンテーション P84～85 【配時 1】	昔から伝わる祭礼などの伝統行事や地域の今と昔の写真などをもとに、昔の土地の様子や人々の暮らしに関心を持ち、調べる意欲をもてるようにする。	○地域の伝統行事や史跡などについて、実際に見聞きして調べたことと話し合い、その歴史や由来について関心を持ち、写真や絵地図などの読み取りを通して地域の昔の様子を捉え、調べようとする意欲をもつ。 ◆地域には、昔、田が広がっていたこと。もとは海だった場所を埋め立てて新田開発が行われた土地であること。	①古くから地域で続いている祭りの趣旨や由来を調べる。 ②地域の昔の写真を読み取り、土地の昔の様子を捉える。 ③地域の土地の成り立ちに関心をもつ。	

小単元名：1 吉田新田はどこにあった 【配当 5時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
地図を使って調べよう P86～87 【配時 1】	現在の地図や、埋め立て前と埋め立て後の絵地図、現在の航空写真を比べるなどして、新田の開かれた土地が現在のどこにあたるのかを推測できるようにする。	○埋め立て前と埋め立て後の絵地図と現在の地図や航空写真を見比べて、吉田新田のあった場所を捉えるとともに、疑問に思ったことを整理して、学習問題をつくる。 ◆吉田新田は入り海を埋め立ててつくられた、広大なつりがね形の土地であったこと。	①吉田新田のあった場所を、地図から予想する。 ②昔の絵地図や写真を見て、吉田新田の埋め立て前と埋め立て後、今の様子を比べる。 ③気づいたことや疑問に思ったことをノートや付箋紙に書く。	

学習問題 なんのために海をうめ立てて、吉田新田をつくったのだろう。

吉田新田を歩いてみよう P88～89 【配時 4】	吉田新田だった場所を実際に歩き、土地の広さや地形の様子を実感的に捉えるとともに、具体的な問いをもつことができるようにする。	○吉田新田があった場所を実際に歩き、関連する史跡を調べたり、地域の人から聞き取って調べたりするとともに、気づいたことや疑問に思ったことを付箋紙に書いていく。 ◆吉田新田は、約 350 年前に吉田勘兵衛という人が米のとれる土地にしようとして、入り海を埋め立ててできた土地であること。	①吉田新田があった場所を、実際に歩く。 ②わかったことを、疑問を書いた付箋紙の裏に書く。 ③解決しない疑問や新たな疑問をもとに、学習計画を立てる。	
---------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	--

小単元 2	吉田新田はどうやってできた	配当時間 8時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)</small>	教科書 3・4下 P90～99
-------	---------------	-----------------------------------------------------------------------	----------------------------------

目 標

- 地域の発展に尽くした先人の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地域の発展に尽くした先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現する力を養う。
- 地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ・先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の地図や写真などの資料で調べたりして、年表やノートなどにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 吉田新田はどうやってできた 【配当 8時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
歴史博物館を たずねて P90～91 【配時 4】	吉田新田について調べたい内容を整理して、学習問題をつくることができるようにする。	○吉田新田に関して調べたい内容や調べる順番を整理し、博物館などを活用して調べ、わかったことや疑問に思ったことをもとに、学習問題をつくる。 ◆吉田勘兵衛が遠浅の入り海を発見し、そこを埋め立てて、米のとれる土地にしようと考えたこと。	①博物館で調べる内容と順番を話し合う。 ②博物館で調べる方法を確かめる。 ③調べてわかったことや疑問に思ったことをもとに学習問題をつくる。	
学習問題 入り海をどのようにうめ立てて、吉田新田をつくったのだろう。				
うめ立てる前 の人々の暮らし P92～93 【配時 1】	絵地図などから埋め立てる前の入り海の様子を調べたり、周辺に住む人々の暮らしを想像したりして、勘兵衛が田を開こうと考えた理由について捉えることができるようにする。	○埋め立てる前の吉田新田の絵地図や学芸員の話をもとに、新田ができる前の入り海の様子を調べたり、周辺の人々の暮らしを想像したりして、当時の人々の願いを考える。 ◆入り海の周辺では、漁を中心とした暮らしが営まれていたが、当時は米に特別な価値があったことから、新田開発によって米の生産量を増やし、より豊かな土地にしたいという人々の願いがあったこと。	①埋め立てる前の入り海の周りの様子を絵地図から読み取る。 ②入り海の周りに住んでいた人々の暮らしの様子を調べる。 ③入り海の周りに住んでいた人々の願いを考える。	
どのようにして うめ立てたの？ P94～95 【配時 1】	埋め立て工事の進め方や工事に使われたと考えられる道具について調べたり、実際に道具を使う体験を通して、当時の工事の大変さを実感的に捉えたりすることができるようにする。	○勘兵衛がどのようにして海を埋め立てていったのかについて調べ、工事に使われたとされる道具を自分たちも実際に使って、土や石を運ぶ体験をする。 ◆埋め立て工事は堤防をつなげる方法で進められ、道具を使って人の力で行われたこと。	①工事の進め方や使われた道具を調べる。 ②工事で使われた道具で、土をほったり運んだりする体験をする。 ③体験をもとに、工事の様子を想像する。	
二度のていぼ うづくり P96～97 【配時 1】	大雨で壊れた堤防を見た時の、勘兵衛や村の人々の気持ちを想像するとともに、二度目の工事を失敗しないために勘兵衛が行った工夫について捉えることができるようにする。	○勘兵衛の堤防づくりの様子を調べ、二度目の工事で失敗しないために行った工夫について考える。 ◆大雨で堤防が損壊し、二度目の工事では堰のつくり方を工夫したり、協力者を頼んだりしたこと。	①勘兵衛の堤防づくりを、詳しく調べる。 ②壊れた堤防を見た時の、勘兵衛や周りの人々の気持ちを想像してみる。 ③二度目の工事で、勘兵衛が工夫したことを調べる。	
新田ができた！ <まとめる> P98～99 【配時 1】	米の収穫量の変化などの資料をもとに、吉田新田の開発によって村の人々の生活が向上したことを捉えることができるようにする。	○米の収穫量の変化の資料などから、人々の生活が向上したことを読み取る。 ◆吉田新田の工事には多くの時間や資金が費やされたこと。新田が完成すると米の収穫量が増加したこと。	①堰がつくられた後の工事の工夫を調べる。 ②新田が完成するまでの工事の様子を調べる。 ③「まとめる」を参考に、勘兵衛たちの工夫や努力を振り返り、人々の暮らしがどのように変わったのかを考えてノートに書く。	

<p><深める> 地域のこれか らを考えよう P100～101 【配時 2】</p>	<p>勘兵衛への手紙を書く活動を通して、いつの時代にもよりよい生活を求める人々の願いによって、地域の開発が進められてきたということを捉えることができるようにする。</p>	<p>○学習したことや考えたことを手がかりに、新田完成後の横浜の発展を調べ、勘兵衛に手紙で報告するという形でまとめる。 ◆吉田新田の完成後も埋め立て工事が続けられたこと。いつの時代も開発を行う人々の願いは同じであること。</p>	<p>①吉田新田が完成した後の横浜の変化の様子を調べる。 ②「勘兵衛さんへの手紙」に書く内容について話し合う。 ③「勘兵衛さんへの手紙」を書く。</p>	<p>※①～②の学習活動を授業で行い、各自が教科書や副読本、ノートを見て「勘兵衛さんへの手紙」を書くことを説明する。 各自が教科書や副読本、ノートを見て「勘兵衛さんへの手紙」を書く。 【1時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
<p><せんたく> 地域に学校を ひらいた小笠 原東陽 P102～103</p>	<p>地域に学校を開いた小笠原東陽について具体的に調べ、人々の願いにもとづいて、地域の教育発展に貢献したことを捉えることができるようにする。</p>	<p>○地域で最初に開設された学校と、開設した人物について調べたことをノートや年表にまとめたり、それらをもとに、地域の人々の願い、学校の開設や運営に関わる苦労や努力について話し合ったりする。 ◆小笠原東陽は、地域の人々の願いにもとづいて学校を開設し、地域の教育発展に尽力したこと。また、多くの生徒を輩出し、学校のある地域は、その後県の教育の中心地になったこと。</p>	<p>①地域で初めて学校を開いた人物について調べる。 ②小笠原東陽は、どのような願いから学校をつくったのか、話し合う。 ③調べたことを年表にまとめる。</p>	
<p><せんたく> 砺波のチュー リップづくり と水野豊造 P104～105</p>	<p>地域に産業をもたらした水野豊造について具体的に調べ、チューリップ栽培による産業振興によって地域の人々の暮らしが向上したことを捉えることができるようにする。</p>	<p>○地域で盛んに行われている産業が、誰によって始められ、どのようにして広まっていったのかについて調べるとともに、当時の人々の思いや願い、産業を確立していくまでの苦労や努力について話し合ったりする。 ◆水野豊造は、チューリップ栽培を普及することによって地域の産業振興に尽力し、人々の暮らしを向上させたこと。その結果、富山県はチューリップの球根生産では全国有数の産地にまでなったこと。</p>	<p>①砺波市のチューリップづくりを盛んにした、水野豊造について調べる。 ②豊造の仕事が、地域の暮らしをどのように変えたのかを調べる。 ③豊造の仕事と、地域の今の暮らしとのかかわりについて考える。</p>	

大単元 7	わたしたちの県のまちづくり	配当時間 18 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)</small>	教科書 3・4 下 P120～159
-------	---------------	---------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

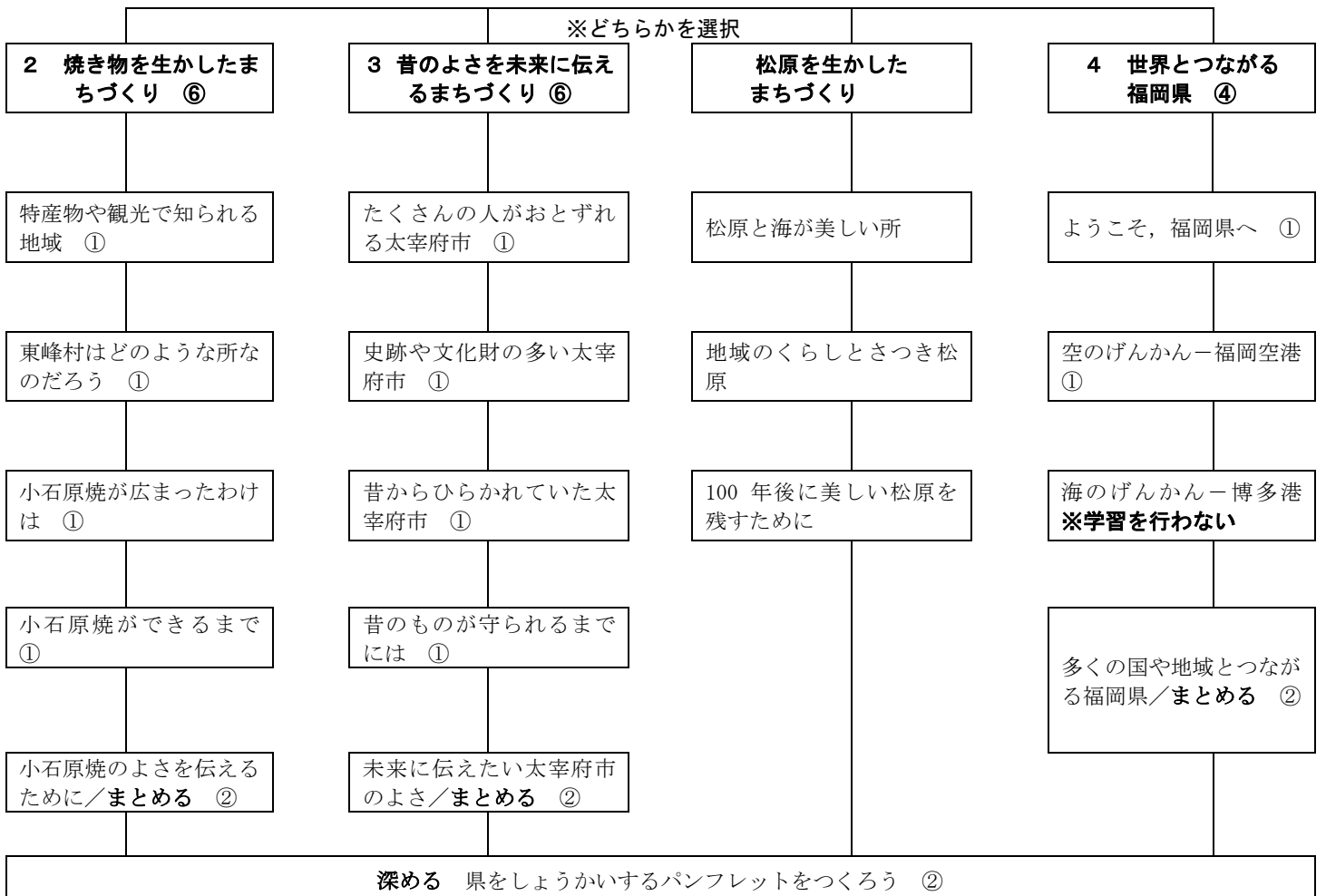
目 標

- 自分たちの県内の特色ある地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 自分たちの県内の特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したりする力を養う。
- 自分たちの県内の特色ある地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・地図帳や各種資料で調べ白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元の構成



小単元 2	焼き物を生かしたまちづくり	配当時間 6時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)</small>	教科書 3・4下 P120～130
-------	---------------	----------------------------------------------------------------------	------------------------------------

目 標

- 伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。
- 伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 焼き物を生かしたまちづくり 【配当 6 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
特産物や観光で知られる地域 P120～121 【配時 1】	特産物や観光で知られる県内の特色ある地域を知り、それらをパンフレットなどで調べるとともに、自分たちが調べる地域を決めるための話し合いをすることができるようにする。	○県内の特色ある地域の中から、焼き物づくりが盛んな東峰村と、観光で知られる太宰府市を、調べる対象として選び出す。 ◆県内には、特産物や観光で知られる特色ある地域があること。	①県の地図を見ながら、知っている場所を発表する。 ②県内の特産物や観光で知られる地域をパンフレットなどで調べる。 ③調べたことをもとに、感じたことや、関心をもったことを話し合う。	
東峰村はどのような所なのだろう P122～123 【配時 1】	東峰村の民陶むら祭に関する写真などを読み取り、小石原焼について調べたいことを明らかにして、学習問題をつくることができるようにする。	○民陶むら祭の様子を捉えた写真などを手がかりに、東峰村で盛んに作られている小石原焼について調べる学習問題をつくる。 ◆東峰村は焼き物づくりが盛んであり、そこで作られる小石原焼を買うために、遠くから多くの客がやって来ること。	①東峰村の位置を確かめ、どのような所なのかを調べる。 ②民陶むら祭に多くの人々が来るわけを予想する。 ③小石原焼について調べたいことを明らかにして、学習問題をつくる。	
学習問題 小石原焼がさかんにつくられるようになったわけはなんだろう。				
小石原焼が広まったわけは P124～125 【配時 1】	小石原焼の特徴をつかみ、この焼き物がどのようにして広く知られるようになったかを理解できるようにする。	○小石原焼の実物を見て特徴を知り、発祥から現在までの歩みと、広く知られるようになった理由を調べる。 ◆小石原焼は中国や朝鮮の焼き物を起源とし、約 350 年の歴史があること。東峰村で開かれる民陶むら祭などを通してより広く知られるようになり、国の伝統的工芸品にも指定されていること。	①本物の小石原焼を見て、気づいたことを話し合う。 ②小石原焼がいつ、どのように始まり、広まったかを調べる。 ③調べてわかったことをノートにまとめる。	
小石原焼ができるまで P126～127 【配時 1】	窯元を見学し、小石原焼の作業工程と技法、使われる材料について調べ、作り手が気をつけていることや努力していることを捉えることができるようにする。	○焼き物づくりを体験して生まれた疑問をもとに窯元を見学し、小石原焼の作業工程と使われる材料、作り手が注意していることや努力していることについて調べる。 ◆小石原焼は地域で採取した材料や燃料を使い、特徴を生み出すための熟練した技法により作られていること。	①焼き物づくりを体験して、感じたことを話し合う。 ②小石原焼ができるまでの作業の様子を調べる。 ③小石原焼の材料について調べる。	
小石原焼のよさを伝えるために <まとめる> P128～130 【配時 2】	小石原焼が盛んにつくられるようになったわけと、焼き物を生かしたまちづくりについて考えることができるようにする。	○小石原焼が盛んにつくられるようになったわけと、焼き物を生かした東峰村のまちづくりについてまとめる。 ◆東峰村は焼き物の材料があり、客の求めに応じた様々な種類の焼き物を作ることで小石原焼を発展させてきたこと。東峰村の人々は小石原焼をより多くの人に知ってもらい、観光客と焼き物の作り手を増やし、活気のあるまちにしようと努力していること。	①焼き物づくりを見学して、気づいたことを話し合う。 ②焼き物づくりを盛んにしていくための取り組みを調べる。 ③「まとめる」を参考に学習を振り返り、小石原焼の生産が盛んになったわけを考えてノートに書く。	

小単元 3	昔のよさを未来に伝えるまちづくり	配当時間 6 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間)</small>	教科書 P136～145
-------	------------------	--------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

目 標

- 県内の伝統的な文化を保護・活用している地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 県内の伝統的な文化を保護・活用している地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。
- 伝統的な文化をまちづくりにどのように生かしているかについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な文化を保護・活用している地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・ 伝統的な文化を保護・活用している地域について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な文化を保護・活用している地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な文化を保護・活用している地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：3 昔のよさを未来に伝えるまちづくり 【配当6時間】

※「昔のよさを未来に伝えるまちづくり」とP146～151のどちらかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>たくさんの人がおとずれる太宰府市 P136～137 【配時1】</p>	<p>写真やグラフから、太宰府市がどのような所で、なぜ多くの人が訪れるのかについて関心をもつことができるようにする。</p>	<p>○太宰府市について知っていること、写真やグラフを見て気づいたことについて話し合う。 ◆太宰府市には、太宰府天満宮や九州国立博物館といった観光地があり、市の人口に対して約100倍もの観光客が訪れていること。</p>	<p>①太宰府市を代表する場所の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ②太宰府市について、知っていることを話し合う。 ③太宰府市はどんな所か、調べる計画を立てる。</p>	
<p>史跡や文化財の多い太宰府市 P138～139 【配時1】</p>	<p>太宰府市はどのような所なのかを地図やパンフレットを使って調べ、史跡や文化財が多く残されていることを手がかりに、学習問題をつくることのできるようにする。</p>	<p>○太宰府市の様子を地図やパンフレットを使って調べ、史跡や文化財が多いことを捉え、それを手がかりに太宰府市について調べる学習問題をつくる。 ◆太宰府市には、史跡や歴史のある祭、仏像などの文化財が数多く残されていること。</p>	<p>①太宰府市の様子を、地図やパンフレットなどで調べる。 ②太宰府市はどのような所なのかを話し合う。 ③史跡や文化財が多い太宰府市について、知りたいことを明らかにして、学習問題をつくる。</p>	
<p>学習問題 太宰府市には、なぜ、昔のものが多く残されているのだろう。</p>				
<p>昔からひらかれていた太宰府市 P140～141 【配時1】</p>	<p>太宰府市にある代表的な史跡や文化財をもとに太宰府市の昔の様子を捉え、歴史的にどのような特色をもった地域であるのかについて考えることができるようにする。</p>	<p>○太宰府市にある代表的な史跡や文化財を調べて昔の様子を捉え、太宰府市がもつ歴史的な特色について考える。 ◆古代の太宰府市には大宰府政庁という国の重要な役所があり、大陸との交流が盛んであったこと。また、太宰府天満宮は菅原道真と深い関わりがあること。</p>	<p>①太宰府市を代表する史跡を調べる。 ②昔の太宰府市は、どのような所だったのかを捉える。 ③調べたことをもとに、太宰府市の特色を考える。</p>	
<p>昔のものが守られるまでには P142～143 【配時1】</p>	<p>太宰府市に史跡や文化財が多く残されているわけについて、それらの保存に関わる人々の取り組みや思いを通して捉えることができるようにする。</p>	<p>○太宰府市に史跡や文化財が多く残されているわけを調べ、地域の人々の史跡の保存に対する意識の変化があったことや、保存に対する思いを捉える。 ◆太宰府市はかつて史跡とされる地域を開発するか否かで住民の意見が分かれたが、しだいに史跡や文化財の保存を大切に考えるようになり、住民の意識が変化したこと。</p>	<p>①太宰府市に史跡や文化財が多く残されているわけを調べる。 ②史跡や文化財の保存をめぐって、太宰府市でどのようなできごとがあったのか調べる。 ③史跡や文化財の保存に対する太宰府市の人々の意識が変わったわけを考える。</p>	

<p>未来に伝えたい太宰府市のよさ P144~145 【配時 2】</p>	<p>太宰府市のよさを生かしたり、伝えたりする活動を調べ、地域の人々はどのような願いのもとで、まちづくりをしようとしているのかを考えることができるようにする。</p>	<p>○太宰府市のよさを生かしたり、伝えたりする活動から、太宰府市の人々はどのようなまちづくりを目指しているのかを話し合う。 ◆太宰府市は昔から受け継いだよさを生かしてまちづくりを進めていること、そこには、まちづくりに取り組む地域の人々の思いや願いがあること。</p>	<p>①史跡や文化財が多く残された太宰府市のよさを生かす活動について調べる。 ②太宰府市のよさを伝える活動について調べる。 ③「まとめる」を参考に、太宰府市の特色を振り返り、人々が目ざしているまちづくりについて考え、ノートに書く。</p>	<p>※授業で①～②の学習活動を行い、各自が教科書や副読本、ノートを見て太宰府市の特色を振り返り、人々が目ざしているまちづくりについて考え、ノートに書くことを説明する。</p> <p>教科書や副読本、ノートを見て太宰府市の特色を振り返り、人々が目ざしているまちづくりについて考え、ノートに書く 【1時間】</p> <p>※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小単元	せんとく 松原を生かしたまちづくり	配当時間 — 時間	教科書 3・4下 P146～151
-----	-------------------	-----------	----------------------

目 標

- 県内の自然環境を保護・活用している地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 県内の自然環境を保護・活用している地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。
- 自然環境をまちづくりにどのように生かしているかについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を保護・活用している地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・ 自然環境を保護・活用している地域について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を保護・活用している地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を保護・活用している地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

せんとく 松原を生かしたまちづくり

※「昔のよさを未来に伝えるまちづくり」と P146～151 のどちらかを選択して学習

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
松原と海が美しい所 P146～147	地図や写真などを読み取り、さつき松原について調べたいことを明らかにして、学習問題をつくることができるようにする。	○さつき松原について地図や写真などを使って調べ、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 ◆自分たちの県には、松原と海の景観が美しい地域があること。	①さつき松原はどのような所か、地図や写真などで調べる。 ②調べてわかったことを、話し合う。 ③話し合ったことをもとに、学習問題をつくる。	
学習問題 地域の人々にとって、松原は、どのような役割を果たしているのだろう。				
地域のくらしとさつき松原 P148～149	さつき松原が地域の人々の暮らしにどのように関わってきたのかについて、調べることができるようにする。	○さつき松原が地域に果たしてきた役割や、松枯れが進んでいる現状について、写真や図、グラフから読み取ったり、地域の人から話を聞いたりする。 ◆さつき松原には昔から地域に果たしてきた役割があること。今の松原は昔に比べて荒れ、害虫によって枯らされる松が増えてきていること。	①さつき松原が地域に果たしてきた役割を調べる。 ②さつき松原の今の様子を調べ、人々の暮らしへの影響を考える。 ③松原の松が枯れるようになったわけを調べる。	
100年後に美しい松原を残すために P150～151	さつき松原を保護する地域の人々の活動を調べるとともに、さつき松原が地域の人々にとってどのような場所なのかについて考えることができるようにする。	○さつき松原を保護する活動に関わる人々から思いや願いを聞き、どのようなさつき松原にしたいと思っているのかについて他の人と話し合う。 ◆地域住民をはじめ、様々な人々が協力してさつき松原を守り、美しい松原を未来に残す活動に取り組んでいること。	①さつき松原を守るために行われている活動について調べる。 ②人々は、どのような思いや願いをもって、松原を守っているのかを、調べる。 ③人々にとってさつき松原はどのような場所なのかを、考える。	

小単元 4	世界とつながる福岡県	配当時間 4 時間 <small>(学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)</small>	教科書 3・4 下 P152～159
-------	------------	------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

目 標

- 県内の国際交流が盛んな地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 県内の国際交流が盛んな地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。
- 国際交流が盛んな理由について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流に取り組んでいる地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・ 国際交流に取り組んでいる地域について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流に取り組んでいる地域の位置、人々の活動や協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流に取り組んでいる地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：4 世界とつながる福岡県 【配当 4 時間】

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
<p>ようこそ、福岡県へ P152～153 【配時 1】</p>	<p>県内の国際交流が盛んな地域について調べたいことを明らかにし、学習問題をつくることができるようにする。</p>	<p>○外国からも多くの人が集まる自分たちの県の代表的な行事に着目し、県内の国際交流が盛んな地域について調べるための学習問題をつくる。 ◆自分たちの県には外国から多くの人々が集まる地域があること。また、地図は縮尺によって、地図上に示される範囲や情報が変わること。</p>	<p>①外国からも多くの人々が来る、自分たちの県の行事やできごとを探す。 ②国際交流が盛んな地域について調べたいことを明らかにし、学習問題をつくる。</p>	
<p>学習問題 福岡市は、他の国や地域と、どのように交流しているのだろう。</p>				
<p>空のげんかん—福岡空港 P154～155 【配時 1】</p>	<p>福岡市は、福岡空港を通して、どの国や地域とつながっているかを捉えることができるようにする。</p>	<p>○福岡市と空路でつながる外国、入国者の出身国や人数を調べ、福岡市と他地域との結びつきの特色について考える。 ◆福岡市は、位置的に近いアジアの国々から多くの人々が来ていること。</p>	<p>①福岡空港と空でつながる国や地域を調べる。 ②どの国から、どれくらいの人々が、福岡空港を通して、日本に来ているのか調べる。 ③地図を見て、福岡県の位置の特色を考える。</p>	
<p>海のげんかん—博多港 P156～157</p>	<p>省略（このページの学習は行わない）</p>			
<p>多くの国や地域とつながる福岡県 〈まとめ〉 P158～159 【配時 2】</p>	<p>福岡市は、どの国や地域と、どのような交流をしているのかを調べ、他地域とのつながりにみる特色について考えることができるようにする。</p>	<p>○福岡市と友好都市(姉妹都市)の関係を結んだり、経済や文化面で交流したりしている外国や都市とその位置、国旗を調べ、これまで学習したことを手がかりに、他地域とのつながりにおける福岡市の特色をまとめる。 ◆福岡市は、位置的に近いアジアの国や地域との交流が盛んで、多くの国や地域と互いの文化を理解するための交流活動が行われていること。</p>	<p>①福岡市の友好都市(姉妹都市)がある国や地域を調べる。 ②福岡市では他の国や地域とどのような交流が行われているか調べる。 ③自分たちの市と、他の国や地域とのつながりをまとめる。</p>	<p>※①②の学習活動を授業で行い、各自が教科書や副読本、ノートを見ながら学習をふり返り、外国との交流にみる市の特色についてノートにまとめることを説明する。 教科書や副読本、ノートを見ながら学習をふり返り、外国との交流にみる市の特色についてノートにまとめる。 【1時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>

<p><深める> 県をしょうかいするパンフレットをつくろう P160～161 【配時 2】</p>	<p>調べてわかったことや考えたことを、わかりやすく伝える工夫をしながら白地図や文章などに整理し、自分たちの県の様子と特色を紹介するパンフレットにまとめられるようにする。</p>	<p>○学習を振り返って、自分たちの県の特徴を話し合い、県をどのように紹介したらよいかを話し合い、わかりやすく伝えることに留意してパンフレットを作成する。 ◆自分たちの県の地形・産業・交通や、地場産業、歴史的景観（自然環境）を保護・活用する特色ある地域の様子、他の国や地域と県とのつながりにみる特色を振り返りながら、他の児童と交流し合い、自分の言葉で表現すること。</p>	<p>①自分たちの県のような特色をふり返り、パンフレットの構想について話し合う。 ②パンフレットの作成に必要な資料を集めたり、紹介文を書いたりしながら、わかりやすく伝えるための工夫について考え合う。 ③自分たちの県を紹介するパンフレットを各自で作って見せ合う。</p>	<p>※授業で①②の学習活動を行い、各自が自分たちの県を紹介するパンフレットを作ることを説明する。 教科書や副読本、ノートを見ながら、自分たちの県を紹介するパンフレットを作る。 【1時間】 ※各自が書いたものを提出させ、一人一人の学習状況を確認する。</p>
---------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------